

提案 2 “花鳥水源の里とのお見合い機能の創出”

花鳥水源の里というのは中山間地域の本来機能をとらえた提案者の造語である。ほとんどの限界集落もその中にある。広島県と島根県の境にある頓原町に、広島在住のM電器OBグループが稲作出張をやっていて、耕作放棄地、限界集落が一息ついているという。

この例にならって、リタイアした団塊のグループなどが花鳥水源の里に出向いて、生産活動や命の洗濯の機会を積極的に生み出していこうという運動を提案する。

たとえば、NPO「田舎と都会の共助ネットワーク」の発足

- 田舎のニーズ把握 / 都会のやる気の人、グループを登録
- お見合いの仲人役
- 関連情報の収集・発信 / 共助メニューの研究 / シンポジウム、交流会等の開催